

製品名: アクアポリン 4(4H1)マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM07080

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	AQP4
別名	AQP4; Aquaporin-4; AQP-4; Mercurial-insensitive water channel; MIWC; WCH4
遺伝子 ID	361.0
SwissProt ID	P55087
免疫原	アクアポリン 4 の合成ペプチド

背景

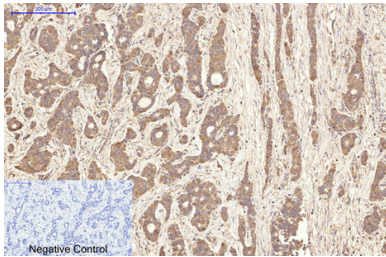
この遺伝子は、多くの細胞の細胞膜で水選択性チャネルとして機能する内因性膜タンパク質のアクアポリンファミリーのメンバーを

コードしています。このタンパク質は脳で見られる主要なアクアポリンであり、脳水分恒常性維持に重要な役割を果たしています。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。最近の研究では、この遺伝子の翻訳リードスルーと、選択的インフレーム翻訳終結コドンの使用によるC末端延長型アイソフォームの発現の証拠が示されました。[RefSeq 提供、2015年12月]、ドメイン:アクアポリンは、それぞれ3つの膜貫通ドメインと、Asn-Pro-Ala (NPA) を特徴とする孔形成ループを含む2つのタンデムリピートで構成されています。機能:水特異的チャネルを形成します。体内の水分バランスを調節し、中枢神経系内の水の流れを仲介する浸透圧受容体。類似性:MIP/アクアポリン (TC 1.A.8) ファミリーに属します。組織特異性:脳 - 筋肉 >> 心臓、腎臓、肺、気管。

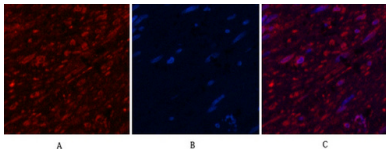
研究分野

シグナル伝達、代謝、細胞膜、チャネル、神経科学、プロセス

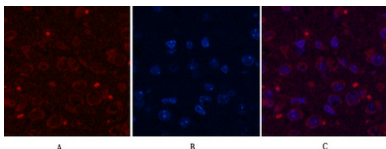
画像データ



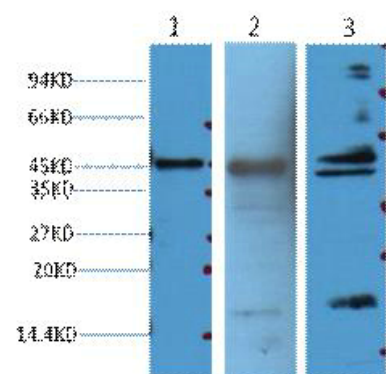
パラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。1. アクアポリン4モノクローナル抗体(4H1)を1:200に希釈(4°C、一晩)。2. クエン酸ナトリウム(pH 6.0)を用いて抗体賦活化(>98°C、20分)を行った。3. 二次抗体を1:200に希釈(室温、30分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



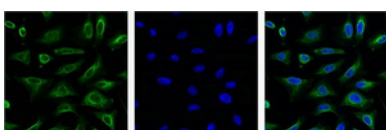
ヒト虫垂組織の免疫蛍光染色。1. アクアポリン4モノクローナル抗体(4H1)(赤)を1:200に希釈(4°C、一晩)。2. Cy3標識二次抗体を1:300に希釈(室温、50分)。3. 写真B: DAPI(青)10分。写真A: ターゲット。写真B: DAPI。写真C: A+Bの合成。



マウス脳組織の免疫蛍光染色。1. アクアポリン4モノクローナル抗体(4H1)(赤)を1:200に希釈(4°C、一晩)。2. Cy3標識二次抗体を1:300に希釈(室温、50分)。3. 写真B: DAPI(青)10分。写真A: ターゲット。写真B: DAPI。写真C: A+Bの合成。



1) HeLa、2) マウス心臓組織、3) ラット心臓組織を1:2000に希釈したウエスタンブロット分析。



抗体(左)とDAPI(右)を1:100に希釈したHeLaのIF分析。

